

平成 24 年 12 月 14 日

平成 24 年度泉佐野市指定管理者制度評価委員会の評価結果について

市においては、平成 18 年度から導入している指定管理者制度導入施設の適正かつ確実な管理運営を確保するとともに、指定管理者の業務改善並びに利用者サービスの一層の向上に資するため、学識知識経験者、議会議員、利用者代表などから構成する指定管理者制度評価委員会を設置し、利用者アンケートや事業報告に基づき、その運營業務、維持管理業務、収支状況などについて確認し、指定管理者が仕様書に適合した業務を行っているかどうかを評価いたしました。

1 開催日程

平成 24 年 10 月 20 日

2 委員会名簿

- 委員長 淵 本 隆 文 (大阪体育大学体育学部教授)
- 委員 高 階 貞 男 (弁護士)
- 委員 昼 馬 義 宏 (税理士)
- 委員 辻 野 隆 成 (泉佐野市議会議長)
- 委員 米 埜 巳年雄 (泉佐野市体育協会会長)
- 委員 奥 野 豊 一 (泉佐野市長生会連合会副会長)

3 指定管理者制度評価対象施設

No	担当課	施設名	指定管理者	選定方式
1	政策推進課	市立文化会館	(一財)泉佐野市文化振興財団	公募
2	高齢介護課	市立社会福祉センター及び市立老人福祉センター	社会福祉法人泉佐野市社会福祉協議会	随意
3	農林水産課	市立かんがい排水施設	泉佐野市用水運営協議会	随意
4	道路公園課	都市公園(りんくう中央公園)	(財)泉佐野市公園緑化協会	公募
5	図書歴史課	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅	NPO法人泉州佐野にぎわい本舗	公募
6	体育振興課	市立市民総合体育館及び市立健康増進センター	南海ビルサービス・セントラルスポーツ事業体	公募
7	商工労働観光課	市立地場産業支援センター	大阪タオル工業組合	公募

2 及び 6 はそれぞれ合築施設で1の指定管理者であるため、まとめて評価を行った。

4 評価の基準等

評価は、仕様書に基づいた運営管理を行っているかどうかなどの観点から、以下の 5 段階評価により行った。

- 5 特に優れている : 提案内容 (仕様書、募集要項内容を含む) を上回った
- 4 優れている : 提案内容 (仕様書、募集要項内容を含む) をやや上回った
- 3 良好 : 提案内容 (仕様書、募集要項内容を含む) どおり
- 2 一部、良好でない : 提案内容 (仕様書、募集要項内容を含む) をやや下回った
- 1 良好でない : 提案内容 (仕様書、募集要項内容を含む) を下回った

5 委員会評価の概要について（委員長総括）

平成 18 年度から始まった指定管理者制度は、全国的にも多くの自治体で取り入れられており、ほとんどの施設が指定から 2 期目を迎えています。泉佐野市においても、同様で今回の評価対象 7 施設（2 つの合築施設を含む）のうち、地場産業支援センター以外は平成 20 年度の前回評価につづき 2 回目の評価となっています。

「評価」の制度そのものは特に法制化されたものではないのですが、毎年度、行政内部の審査委員会で実績報告書や決算書などをもとに、モニタリング、いわゆる履行の確認、評価が行われており、この外部委員における「評価委員会」は、利用者代表なども含まれるため、行政とは異なった視点で、その運営について評価をし、意見を述べる場となっております。

委員会の進め方として、事前配布された資料に基づき、それぞれの施設ごとに、施設概要をはじめ、運營業務、維持管理業務、利用状況、収入状況、収支状況、運営体制、独自の取り組みの 7 つの区分の順に従って、市審査委員会としての評価点とその理由の説明を受けたのち各委員さんからの質疑、担当課による応答、評価点の確認を行いました。

それぞれの施設の評価の詳細は、別添、指定管理者制度評価委員会評価一覧表及び評価シートのとおりですが、全体を通した評価の概要としては、

- 運營業務及び維持管理業務のうち、仕様書、関係法令、提案書等に基づき適正な管理がされているかについて審議したところ、運營業務では、7 団体中すべてで「良好」、維持管理業務では 2 団体で「優れている」5 団体で「良好」となりました。
- 利用状況では、利用者数を前年度などとの比較により検討した結果、2 団体で「優れている」5 団体で「良好」となりました。
- 収入及び収支状況のうち、収入状況では、「良好」が 6 団体、収支状況では、2 団体で「優れている」、4 団体で「良好」となり、社会福祉センターや総合体育館・健康増進センターでは、指定管理料の大幅な減額の中でも、黒字の維持に努められている。一方、りんくう中央公園については、今後、増収等により収支改善を図るよう検討いただきたいという評価となりました。
- 運営体制及び独自の取り組み状況のうち、運営体制では、3 団体で「優れている」、4 団体で「良好」とし、民間業者として、フレキシブルな運営体制をとっている。また、独自の取り組み状況では、5 団体が「優れている」、2 団体が「良好」で、提案により利益還元が図られていることや、補助金の活用、利用者の立場にたった施設の改善を行っていることなど高い評価となりました。

そのほか

- 1 社会福祉センターや旧新川家住宅では、施設利用に向けて PR 活動を積極的に行うことによって利用者の増及び収入増にもつながることなので、そういった一層の取り組みをすることを期待する。
- 2 社会福祉センターでは、建物が老朽化しているため耐震化の対策や運営面での配慮をしてほしい。
- 3 旧新川家住宅では、利用料金制の検討と合わせて、文化財の維持という観点から市で協力できるところはできるだけ支援してもらいたい。
- 4 りんくう中央公園では、自主事業のうち参加者の少ないものや事業内容について、再検討されたい。
- 5 総合体育館・健康増進センターでは、市と指定管理者と利用者代表との定期的な懇談があり、日頃施設に対する要望ばかりでなく、利用者側のマナー向上や市民サービスの向上につながっている。などが意見として出されました。

評価点に反映されなくても、議論の中で評価できるものもありましたし、市においては、今回出された意見について真摯に検討し、可能な限り運営面での改善や来年の審査委員会での評価、さらには、次回の指定管理者の選定などに反映、活かされるように努めていただきたい。

指定管理者制度の目的は、民間のノウハウを活用し経費の節減と市民サービスの向上を図ることとされており、市に代わって公共施設を運営する指定管理者に対して、市が適切な評価を行い、相互理解を深めることが、利用者へのサービスの向上につながるものと考えますので、この「評価」がよりよい制度運用のために活用されることを期待いたします。

最後に、委員の皆さんにおかれましては、限られた時間の中で、委員会運営へのご協力と、貴重なご意見をいただいたことに感謝の意を表し、委員長としての総括といたします。

平成 24 年 10 月 20 日

泉佐野市指定管理者制度評価委員会委員長 淵本 隆文

平成24年度指定管理者制度評価委員会評価一覧表(前年度決算分) No.1

No	担当課	施設名	指定管理者	評価区分	運営 業務	維持 管理	利用 状況	収入 状況	収支 状況	運営 体制	独自 の取 組	総合評 価結果	総合評価所見	
1	政策推進課	泉佐野市立文化会館	(一財)泉佐野市文化振興財団	自己評価	4	4	3	3	4	4	4	4	イベント等を自粛している中で利用料金収入を増やし、貸館利用者の増員も図っている。また、玄関横に新たに授乳室を設置するなどアメニティの更なる向上も行っている。自主事業を29事業実施したが、自主事業収支比率の向上は目標を達成できていないので、努力していただきたい。収支は単年度黒字となり、市へ財団の提案により戻入を行った点が優れている。	
				市の評価	3	4	4	3	4	4	4			
				委員会評価	3	4	4	3	4	4	4			4
2	高齢介護課	泉佐野市立社会福祉センター及び泉佐野市立老人福祉センター(上記施設と合築施設)	社会福祉法人泉佐野市社会福祉協議会	自己評価	3	4	3	3	4	4	4	4	施設の維持管理においては、利用者の協力も得ながら着実に経費節減の実績をあげている。運営体制については職員研修(防災研修会)の回数を増やしたり、仕様書にはない第1種電気工事士等を選任し、迅速な対応や危険防止に努めている。また経費節減に努めた結果、収支の黒字を計上し、施設の大規模改修にあてている。その他小さな施設修理を管理者自らが行うなど、利用者側に立った施設の管理運営は優れている。	
				市の評価	3	4	3	3	4	4	4			4
				委員会評価	3	4	3	3	4	4	4			4
3	農林水産課	泉佐野市立かんがい排水施設	泉佐野市用水運営協議会	自己評価	3	3	3	3	3	3	3	3	農業用水の供給は、降雨などの自然条件により左右されるものであり、その点を考慮すると通年で供給は良好と考える。	
				市の評価	3	3	3	3	3	3	3			3
				委員会評価	3	3	3	3	3	3	3			3
4	道路公園課	都市公園(りんくう中央公園)	(財)泉佐野市公園緑化協会	自己評価	3	3	4	3	3	4	3	3	全般的には良好であるが、初回の指定管理では、毎年100万円以上の黒字があり、今回の指定管理の募集要綱では100万円の積立金を計上することとなっております。今回は100万円積立後は赤字であり利用状況も減っていることから今後は収益改善の検討をしてほしい。また、自主事業についても参加者の少ないものについては再検討が必要と思われる。	
				市の評価	3	3	3	2	2	3	3			3
				委員会評価	3	3	3	2	2	3	3			3

平成24年度指定管理者制度評価委員会評価一覧表(前年度決算分) No.2

No	担当課	施設名	指定管理者	評価区分	運営 業務	維持 管理	利用 状況	収入 状況	収支 状況	運営 体制	独自の 取組	総合評 価結果	総合評価所見
5	図書歴史課	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅	NPO法人泉州佐野にぎわい本舗	自己評価	4	4	4	4	4	5	5	3	自主事業やそれに伴う人員体制の確保については、積極的に取り組んでおり、良好といえる。また、大阪府建築士会の補助金を得るなど、積極的かつ意欲的に取り組んでいる。
				市の評価	3	3	3	3	3	4	4		
				委員会評価	3	3	3	3	3	4	4		
6	体育振興課	泉佐野市立市民総合体育館 及び泉佐野市立健康増進センター	南海ビルサービス・セントラルスポーツ事業体	自己評価	3	3	3	3	3	3	4	3	総合体育館のトレーニング室跡の活用として、卓球、カルチャースクールなど有効活用に努め、更に、平成24年4月からの武道場開設に向け、円滑な利用者対応を図ったことは、評価できる。利益還元として、雨漏りの改修、障がい者用シャワー式便座を設置したことは利用者への配慮の点から見て良好といえる。
				市の評価	3	3	3	3	3	3	4		
				委員会評価	3	3	3	3	3	3	4		
7	商工労働観光課	泉佐野市立地場産業支援センター	大阪タオル工業組合	自己評価	3	3	4	3	4	3	4	3	人材育成交流支援事業として、小中学生の見学・就業体験や大学生の視察の受入れを行ったり、各地での展示会やセンターでの常設展示などにおいて一般消費者への商品のPRだけでなく、ものづくりについてのPRを広く実施している。また、地場産業を活かした新たな商品開発に取組むなど、施設の管理運営は良好である。
				市の評価	3	3	4	3	3	3	4		
				委員会評価	3	3	4	3	3	3	4		

所管 課

1 指定管理者

指定管理者	
指定期間	
市支出額	
施設概要	

2 管理運営に関する評価

管理実施状況	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 施設の運営業務				
b 施設の維持管理業務				
利用状況	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 施設の利用状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)				
収支状況	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 収入状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)				
b 収支状況 (収支均衡以外はその理由 を含める)				
運営体制	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 人員等の適切な配置				
その他	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 独自の発意による指定管 理者提案事業の取組状況 (他の各項目に記入して いる内容を除く)				

3 利用者の満足度調査等

満足度調査実施内容	
満足度調査結果概要	
利用者意見・苦情と対応	

4 評価

市の評価	所 見	評価
指定管理者制度 評価委員会の評価	所 見	評価

評価ランク(自己評価含む):

- 5 特に優れている : 提案内容(協定書、仕様書、募集要項内容を含む)を上回った
 4 優れている : 提案内容(協定書、仕様書、募集要項内容を含む)をやや上回った
 3 良好 : 提案内容(協定書、仕様書、募集要項内容を含む)どおり
 2 一部、良好でない : 提案内容(協定書、仕様書、募集要項内容を含む)をやや下回った
 1 良好でない : 提案内容(協定書、仕様書、募集要項内容を含む)を下回った